

## 平成26年度報告書に係る町民の反響について

### ◎ 報告書について

【手交 平成27年3月27日 町長室】

報告書	町ホームページ公表	4月 2日
概要版	〃 公表	4月 28日
〃	全戸配布	5月号広報紙同封
ホームページ	アクセス件数	約 100件

### ◎ 住民懇談会（国・町・議会）原発に関する主な意見（H25～）

- 原子力施設監視委員会内で、有事の際に町民に情報を提供するシステムの構築とあるが、有事の際には、前回と同様町民が慌てることは想定される。“原発予報”を町民に出してほしい。
- 事故がおきるリスク、放射性物質の飛散状況などをまとめて事前に周知してほしい。
- 第一原発の燃料冷却は水冷式を採用しているがこれでは汚染水が増える一方。空冷式など他の方法はないのか？
- 原子力発電所事故の緊急通報についてですが、3.11の避難の際には広報無線で具体的な事故内容については一言も伝えられなかった。より詳しく広報してもらえれば対応も違っていたと思う。その経験を活かして取り組んでもらいたい。
- 廃炉汚染水対策について、現在進行形で進められている作業は、今まで経験したことのない作業であり、今後も避難を伴う事故が発生する可能性があるのではないのか？
- 東電に関して。まだ復興が進んでいない。東電がいうのは嘘ばかり。箱ものだけを整備しても、また震災がおこれば無駄になる。

- 第二原発の廃炉に関してはどうなっているのか。国会中継を見ると、廃炉に関しては、国の問題ではなく東電の問題であるということになっている。それに対して、県知事は県内全部廃炉と言っているが、それは間違いないのか。いまでも、第二原発に作業員がいて再稼働に動いているのかと思った。
- 第二原発は、廃炉になっていない。戻って家を再建したいと思うが、またこのような状況になった場合は、帰ることができない。廃炉を町として要望して欲しい。
- 町長は近じか帰町と言っているが、東電では事故が頻発しており安全が保障されるのか。

※以上、これは一部抜粋したものです。